

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
乳癌 S-1術後療法		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1-14	① エスワン (テガフルとして)80~120mg/body/日 1日2回朝夕食後		
コメント			

プロトコールに関する解説
<p>本療法は、ホルモン受容体陽性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌に対して、術後内分泌療法と併用してS-1を1年間内服する治療である。</p> <p>本邦の医師主導臨床試験であるPOTENT試験は、再発中間リスク以上のエストロゲン受容体陽性かつHER2陰性の原発性乳癌患者を対象に行われ、標準的な術後内分泌療法にS-1を1年間併用することで、S-1と内分泌療法併用群で内分泌療法単独に対して浸潤癌の無病生存期間(IDFS)が有意に良好であった($P=0.0003$)。5年IDFS割合は、S-1と内分泌療法の併用群が87%、内分泌療法単独が82%であった。</p> <p>S-1併用により、内分泌療法単独群と比較してより高い頻度で認められたGrade 3以上の有害事象としては、好中球数減少(8%)、下痢(2%)、白血球数減少(2%)、ビリルビン値上昇(1%)などであった。</p> <p>以上をもって、本邦では2022年11月に本療法が承認された。</p>